

令和5年度

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会

開催報告書

諮問事項

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例（平成 29 年湯沢市条例第 1 号）第 12 条第 2 項の規定に基づき、若者や女性の活躍推進に関する施策等について、貴協議会の意見を求めます。



10月17日開催 第6回推進協議会

目次

1. はじめに	1
1) 湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会について	1
2) 推進協議会委員名簿	1
2. 推進協議会の経過	2
1) 第1回推進協議会（令和5年5月25日）	2
2) 第2回推進協議会（令和5年6月21日）	3
3) 第3回推進協議会（令和5年7月8日）	4
4) 第4回推進協議会（令和5年9月7日）	6
5) 第5回推進協議会（令和5年9月28日）	9
6) 第6回推進協議会（令和5年10月17日）	13
3. 事業提案	15
1) 地域の「つながり」を再構築する地域経営組織育成モデル事業	15
2) 湯沢市地産地消推進条例制定事業	15
3) 未来住宅づくりプロジェクト事業	16
4) 若者がつくる魅力発信コンテスト事業	16
5) 地域住民の交流の場づくり事業	16
6) 婚活サービス料補助事業	17
4. おわりに	17

1. はじめに

1) 湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会について

第1期湯沢市まち・ひと・しごと創成総合戦略において、『「若者」と「女性」が主役の「異色の地方都市」への挑戦』を掲げ、平成29年3月に若者や女性のまちづくりへの参画機会を積極的に確保することを目的に、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例が制定されました。同条例第12条において、若者や女性の活躍推進に資するため、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会（以下、推進協議会という）を置くとされ、推進協議会は、市長の諮問に応じ、若者や女性の活躍推進に関する重要事項について調査し、及び協議し、また、市が実施する若者や女性の活躍推進に関する施策の実施状況について必要に応じ調査し、必要と認める事項について市長に意見を述べることと定められています。

令和5年度推進協議会のメンバーは、公募により選考した者、各種機関や若者女性団体等から推薦された者、市内の高等学校に通学する者16名によって組織されました。推進協議会では、未来の湯沢市の「あるべき姿」を思い描きながら、「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案することを目的として6回にわたる会議を重ね、各委員が熱意を持って議論し、報告書を取りまとめました。

2) 推進協議会委員名簿

委員の選出に当たっては、公募2名、市長が特に必要と認める者2名のほか、女性団体から3名、若者団体から3名、関係機関から4名、市内高校から2名が推薦され、湯沢市長から委嘱されました。

委員16名 任期:令和5年5月25日～令和7年3月31日

役職	氏名	所属	備考
会長	小野塚 真美	公募	女性
副会長	菅 善徳	あきたF・F推進員	男性
委員	伊藤 圭	公募	女性/若者
〃	佐藤 雅俊	一般社団法人湯沢青年会議所	男性/若者
〃	松倉 みほ子	湯沢商工会議所青年部	女性/若者
〃	阿部 俊介	ゆざわ小町商工会青年部	男性/若者
〃	安倍 直見	秋田県雄勝地域振興局	女性
〃	古関 雄大	ゆざわりビングラボサポートオフィス	男性/若者
〃	伊藤 太志	北都銀行湯沢支店 明日の湯沢を考える会	男性/若者
〃	佐藤 拓弥	いんない未来塾	男性/若者
〃	大野 理智子	小安峡温泉 きらめき女子会	女性
〃	見田 美紀	ひよこサークル	女性/若者
〃	大日向 陽子	秋田県醗酵工業株式会社 A-ribbon	女性
〃	佐々木 美空	秋田県立湯沢高等学校	女性/若者
〃	鈴木 伽衣	秋田県立湯沢翔北高等学校	女性/若者
〃	加藤 和加奈	集落支援員	女性/若者

条例において、若者とは当該年度の4月2日現在 15歳以上 39歳以下である者と定義されています。

2. 推進協議会の経過

1) 第1回推進協議会（令和5年5月25日）

時間 17時30分から19時まで 会場 湯沢市役所本庁舎会議室 21・22

出席者 出席委員15名 市長ほか事務局6名

テーマ 市が実施する若者や女性の活躍推進に関する施策・事業の実施状況の確認

内容 1. 委嘱状交付

2. 市長あいさつ

3. 自己紹介

4. 会長・副会長選任

5. 諮問について

6. 湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例について

7. 市が実施している若者女性活躍推進関連事業について

8. 協議会の進め方及び年間スケジュール(案)について

◆ 事業の目的

YUZAWA CITY

若者や女性が輝くまちづくり推進協議会のコンセプトについて

ポイント
「若者や女性が活躍するまち」というコンセプトをいかにしてプログラム(施策・事業)に反映できるか。

そもそも①・・・「若者や女性が活躍するまち」とは！？
・若者や女性が活躍するまち ⇒ ○○○○

そもそも②・・・「若者や女性が活躍するまち」になるとどうなる！？
・若者や女性が活躍するとどうなるか ⇒ ○○○○

そもそも③・・・若者や女性の活躍を総合的に推進し、もって地域の活力創出に寄与することが目的
・湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会に（こそ）できることは何か？ ⇒ ○○○○

◆ 事業の目的

YUZAWA CITY

若者や女性が輝くまちづくり推進協議会(にこそ)ができること(取り組みたいこと)

- ① 市が実施する若者や女性の活躍推進に関する施策・事業の実施状況の確認
- ② 市が取り組んでいる若者や女性の活躍推進に関する施策・事業、重要業績評価指標(KPI)の設定が適切であるか確認
- ③ 「若者や女性が活躍する湯沢市」を思い描き、どうしたら思い描いた姿を実現できるのか話し合う(課題の設定・アイデア出し)
- ④ 「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案(アイデアの絞り込み)

◆ 非属諮問

YUZAWA CITY

諮問事項

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例(平成29年湯沢市条例第1号)第12条第2項の規定に基づき、若者や女性の活躍推進に関する施策等について、貴協議会の意見を求めます。

**若者や女性が活躍する「湯沢市」であるために
若者や女性が思い描く・・・
「若者や女性に選ばれるまち」
「女性が輝く住みやすいまち」とはどんなまちか
どうしたら思い描くまちを実現できるのか**

↓

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会で探求し、湯沢市が目指す未来づくりの指針とします！

◆ スケジュール

令和5年度 若者や女性が輝くまちづくり推進協議会 スケジュール

5月25日(木) 17時30分～	第1回 委嘱状交付・諮問・事業説明
6月21日(水) 17時30分～	第2回 ワークショップ 講師:長内伸悟氏 若者や女性が輝くまちづくりを立案する
7月8日(土) 13時～	第3回 議員としゃべろうマチトーク!! テーマ 湯沢の未来をデザインしよう!
9月7日(木) 18時から	第4回 グループワーク 湯沢市の課題を把握し、解決したいことは何か(目的)を考える
9月28日(木) 18時から	第5回 グループワーク 目標(目指すための道標)をたて、どうしたら解決できるか(手段)を考える
10月17日(火) 18時から	第6回 続・グループワーク 目標(目指すための道標)をたて、どうしたら解決できるか(手段)を考える

令和6年度の事業へ反映



2) 第2回推進協議会 (令和5年6月21日)

時間 17時30分から19時30分まで 会場 湯沢市役所本庁舎会議室 21・22

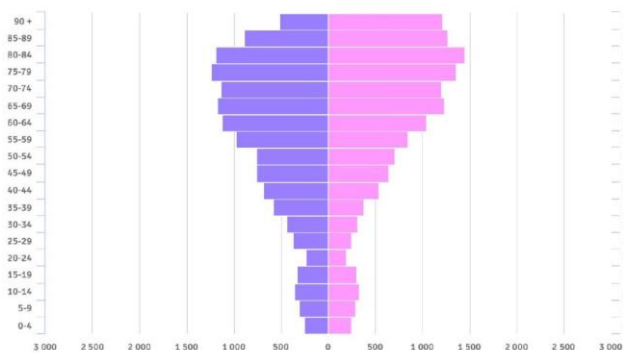
出席者 出席委員14名 事務局5名

講師 早稲田大学マニフェスト研究所 長内 紳悟 氏 渡辺 太樹 氏

テーマ 市が取り組んでいる若者や女性の活躍推進に関する施策・事業、重要業績評価指標(KPI)の設定が適切であるか確認

内容 講義「若者・女性が輝くまちづくりを立案する」

1980年→2040年



2040年の湯沢市 人口ピラミッドの頂点は80代女性に

達成できなかったKGI (0本/7本)

数値目標	現状		単位	年度	実績値				目標値		達成率
	年度	基準値			累計	H27	H28	H29	H30	計	
1 新規就労者数	H26	212	人	単年度	63	76	64	39	413	9%	
2 結婚機会1人あたりの課税所得期待値 ※達成率は2024年度平均は81千円に相当する	H25	2,322	千円	単年度	2,380	2,394	2,370	2,375	基準値以上	91%	
1 出生超過数	H22 ~ H28	1,564	人	単年度	332	358	170	310	1,280 (4年累計)	91%	
1 合計特殊出生率	H20 ~ H24	1.45	—	単年度	1.18	1.23	1.13	1.05	1.55	68%	
2 総額数	H28	142	組	単年度	149	141	126	112	801 (5年累計)	66%	
3 子育て環境や支援に満足している人の割合	H25	27.8	%	単年度	—	15.1	35.7	24.2	53.0	48%	
1 湯沢市に誇りや愛着を感じる市民の割合	—	—	%	単年度	—	74.8	74.2	73.1	85.0	86%	

早稲田大学マニフェスト研究所

目的・目標・手段の立て方 (戦略3)

- ① 「出会いの機会創出と結婚支援」による
- ② 「出会いの機会創出と結婚支援の強化」のために
- ③ 「あきた結婚支援センターの新規加入者の数」を目標にしよう！
- ④ だから、「ゆざわライフイベントサポート事業」を行おう！

- ① 「安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」による
- ② 「子育てニーズにこたえるまちづくり」のために
- ③ 「合計特殊出生率」「子育て支援に係る満足度の向上」「子育て支援ポータルサイトのPVCの数」を目標にしよう！
- ④ だから、「出産おめでとう事業」「子ども・子育て支援事業」「ゆざわライフイベントサポート事業」「子育て世帯の負担軽減施策」を行おう！

- ① 「SNS等による情報発信手段等の見直し」による
- ② 「情報発信・発信ツールの検討・見直し」のために
- ③ 「・・・」を目標にしよう！
- ④ だから、「ゆざわライフイベントサポート事業」を行おう！

マリオの世界に例えると

「ピーチ姫を救うために」 → 「クッパを倒す」
 「平和なまちのために」 → 「ピーチ姫を救う」

▶▶▶目的と手段の関係

- Q. クッパを倒す方法は、他にないか？
 Q. クッパを倒す以外に、救う方法はないか？
 Q. ピーチ姫は本当に救ってほしいと思っているか？
 Q. ピーチ姫以外に、救う人はいないか？

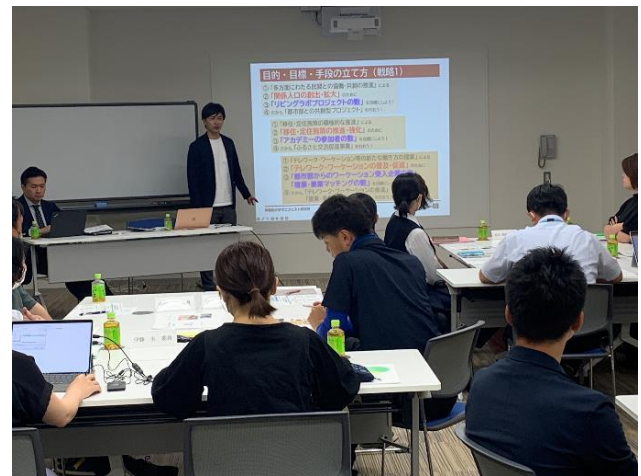
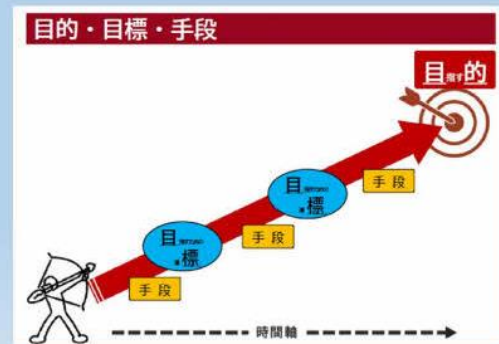
手段・目標・目的の立て方は
果たして正しいだろうか？

第2回推進協議会のおさらい

- ・エビデンス(証拠・根拠)に基づいた政策づくりが必要。
- ・思い込み議論で政策をつくと間違ふ。
- ・データは課題の予測がつく。事実を共有しておかないとズレが生じる。情報を議論の際の説得材料にする。

まずは、「**どうしたら解決できるか？(手段)**」よりも「**解決したいことは何か？(目的)**」を先に見つけましょう！

将来の湯沢市を見据え、様々なデータから課題を把握し、解決をしたいことは何か(目指す**目的**)考える。そして目標(目指すための道**標**)をたてる。そしてどうしたら解決できるか(手段)考える。



3) 第3回推進協議会(令和5年7月8日)

時間 13時から16時まで 会場 湯沢市役所本庁舎市民ロビー

出席者 出席委員11名 事務局2名

テーマ 「若者や女性が活躍する湯沢市」を思い描き、どうしたら思い描いた姿を実現できるのか話し合う(課題の設定・アイデア出し)パート1

内容 1. 第2回推進協議会のふりかえり

2. みんなで参加しよう「議員としゃべろうマチトーク!!議会フォーラム2023」 ~ゆざわの未来をデザインしよう~

ワールドカフェのテーマ

ラウンド1(20分)

湯沢に住んでいて、いま自分が充実できている事・充実できていない事は何ですか？

ラウンド2(20分)

ずっと湯沢に住んでいくために、自分や自分の周りではこんな事ができたら・こんな風になっていたらいいなと思う事は何ですか。

ラウンド3(20分)

そのために、いま湯沢市議会に取り組んでもらいたい事、また、湯沢市民とも一緒に取り組めそうな事は何ですか。



4) 第4回推進協議会（令和5年9月7日）

時間 18時から20時15分まで 会場 湯沢市役所本庁舎会議室 21・22

出席者 出席委員13名 事務局5名

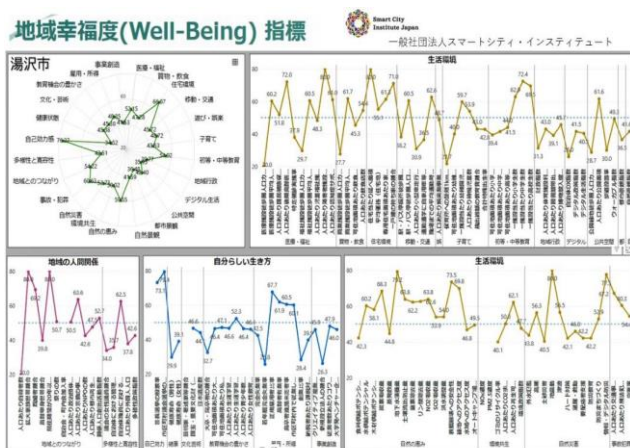
テーマ 「若者や女性が活躍する湯沢市」を思い描き、どうしたら思い描いた姿を実現できるのか話し合う（課題の設定・アイデ出し）パート2

内容 1. これまでの協議会のふりかえり

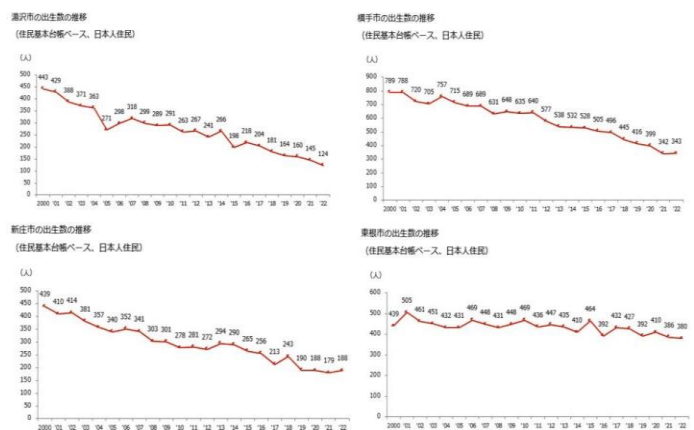
2. グループワーク

①様々なデータから湯沢市の課題を把握しよう。

②みんなで考える「湯沢市が〇〇な状態であるために、解決したいことは何か。」



全国 Well-Being 調査の結果(湯沢市の客観詳細)



EBPM 支援ツールにより近隣自治体と比較(出生数の推移)

「若者や女性が活躍する湯沢市」を思い描くワークショップ

2040年に予想される湯沢市の課題(心配なこと)は何ですか？

※今は大丈夫でも17年後の湯沢市は!?
様々なデータから2040年の湯沢市を鮮明になるまでイメージしてください。

ラウンド1

40分

湯沢市が〇〇な状態であるために、解決したいことは何ですか？

※解決したいこと(目指す的)が多く出された場合は、3つに絞り込んでください。

ラウンド2

40分

【 1 班 】

地域 (まちづくり・人間関係など)	自然環境 (災害・景観・自然の恵みなど)
経済 (産業・雇用・所得など)	生活環境 (居住・買い物・交通など)
福祉 (医療・介護・子育てなど)	その他
【自治体比較】湯沢市優位	【自治体比較】湯沢市劣位

【 2 班 】

地域 (まちづくり・人間関係など)	自然環境 (災害・景観・自然の恵みなど)
経済 (産業・雇用・所得など)	生活環境 (居住・買い物・交通など)
福祉 (医療・介護・子育てなど)	その他
【自治体比較】湯沢市優位	【自治体比較】湯沢市劣位

【 3 班 】

地域 (まちづくり・人間関係など)	自然環境 (災害・景観・自然の恵みなど)
経済 (産業・雇用・所得など)	生活環境 (居住・買い物・交通など)
福祉 (医療・介護・子育てなど)	その他
【自治体比較】湯沢市優位	【自治体比較】湯沢市劣位



ワークショップのまとめ

【 1 班 】

ラウンド1 2040年に予想される湯沢市の課題 (心配なこと) は何ですか？

地域 (まちづくり・人間関係など)

- ・人間関係が希薄になる
- ・後継者となる人材の不足
- ・地域のつながり (コミュニティ) の減退
- ・行政サービスが届きにくい
- ・動ける人が少なくなる
- ・友人がいなくなる
- ・集落消滅
- ・町内会が広範囲になる
→無くなっているかも
- ・行事がなくなる
- ・お祭り (伝統) が途絶える

自然環境 (災害・景観・自然の恵みなど)

- ・耕作放棄地が増える
- ・山を管理する人がなくなる
- ・農地が荒れて景観が悪くなる
- ・除雪がいつかない
- ・獣が増える

経済 (産業・雇用・所得など)

- ・労働力 (人手) 不足
- ・伝統産業がなくなる
- ・雇用・所得ともに減
- ・事業所が減り、働くところなくなる
- ・働く人がいないから企業が撤退する

生活環境 (居住・買い物・交通など)

- ・買い物するところが少なくなる
- ・買い物するところが遠くなる
- ・買い物難民が増える
- ・空き家・空地が増える

福祉 (医療・介護・子育てなど)

- ・医師不足
- ・医療機関が減る
- ・超高齢化問題
- ・老人福祉施設に入れない

その他

- ・学校が少なくなる
- ・生徒数の激減
- ・芸術や文化に触れる機会がない
- ・独身者の激増
- ・学校が遠くなる
- ・競争意識が低下する

【自治体比較】湯沢市優位

- ・自然の恵みが多い
- ・環境共生
- ・事故・犯罪が少ない
- ・住宅環境 (住宅延べ面積) が良い

【自治体比較】湯沢市劣位

- ・自殺者数
- ・雇用・所得が少ない
- ・外国人人口少ない
- ・健康状態悪い

その他ラウンド1のなかで話題になったこと

- ・人口予測、人口ピラミッドから読み取れる2040年の湯沢市の状況に大きな不安を感じる
- ・秋田県内の2自治体と比べ、新庄市と東根市の状況は明らかに違っている
- ・新庄市と東根市の状況が違う要因は何が探りたい
- ・湯沢市の増産数・出生数の減少が顕著すぎる
- ・急激な人口減少と超高齢化を背景に、地域コミュニティの衰退や地域経済の縮小、自然環境の悪化や生活環境の保全など、あらゆる面での課題が顕在化する

ラウンド2 湯沢市が〇〇な状態であるために、解決したいことは何ですか？

どんな状態？

- ・湯沢市民がみんな「幸福感」を持って暮らしている状態

解決したいこと (目指す的)

湯沢市民がみんな「幸福感」を持って暮らすため、世代や地域のくくりを超えたつながり (みんながつながる) を再構築し、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指す

その他ラウンド2のなかで話題になったこと

- ・人々の幸福とは!? 健康、家族、友人、生きがい・・・
- ・地域課題とは!? 除雪、買い物、交通、交通、伝統 (おまつり・行事) 継承、草刈り、山管理、福祉、農業や地産産業 (後継者不足)、空き家や空き地の管理、 獣・・・
- ・地域づくりは「運営」から「経営」へ
- ・地域の人々が幸福感を持って暮らすということは、地域の人々がつながりをもって協力しながら課題を克服し、楽しく生き生きと暮らすことではないか



ラウンド1 2040年に予想される湯沢市の課題（心配なこと）は何ですか？

地域（まちづくり・人間関係など）

- ・若者の活躍があまり見られない
→市の魅力がなくなっていく
- ・市外に出たいという子ども（若者）を引き留められないような環境
- ・人口の減少率が加速する
→市が無くなってしまいかも

自然環境（災害・景観・自然の恵みなど）

- ・除雪ができず、雪で埋もれる

経済（産業・雇用・所得など）

- ・働く世代への負担増（経済面など）
- ・健康に働ける人の減少
- ・農業・林業などの一次産業の衰退
- ・後継者不足による企業の倒産
- ・高齢化に伴う事業所減少、就職者数の減少

生活環境（居住・買い物・交通など）

- ・人口減少による税収悪化によりインフラの維持ができなくなる（道路整備、雪よせ、教育、市職員の人員削減など）
- ・除雪ができない

福祉（医療・介護・子育てなど）

- ・学校教育の問題…学力や風土の違いで学校を選べない、部活動ができない
- ・少子高齢化が進み、住民の若者だけでは高齢者を支えきれなくなる
- ・全人口の1/4が80歳以上となり、健康状態の悪い人が増え、医療・介護が圧迫される
- ・高齢単身者が増加することで（特に男性の場合）寿命が縮み、人口減少が加速する
- ・婚姻件数の減少による出生数の減少

その他

- ・高齢化の湯沢市

【自治体比較】湯沢市優位

- ・なし

【自治体比較】湯沢市劣位

- ・雇用・所得が低く、生活する地域として選べない

その他ラウンド1のなかで話題になったこと

- ・10年後に湯沢市を何とかしようと思っても、もう遅い。今すぐに対策が必要
- ・外から人を呼ぼうと思っても、仕事があれば人は増えない
- ・湯沢市は魅力的な資源がたくさんある。これを活かしてきていないことがもったいない
- ・10代で湯沢市にきたが、何もなくて耐えられない
- ・数年前に首都圏から秋田（湯沢）へアプローチして何か活動したいと思っても、その手段がなかった。そういう思いがある人も一定数いると思う

ラウンド2 湯沢市が〇〇な状態であるために、解決したいことは何ですか？

どんな状態？

- ・湯沢市の特産物が流通し、事業拡大・雇用増加している状態
- ・魅力的な雇用が充実している状態
- ・移住者支援が増加している状態（移住したい人が移住できる状態）
- ・（移住者やUターン者が増えることで税収が増え、）インフラ（交通・除雪・教育・店）が整っている状態

解決したいこと（目指す的）

- ・湯沢市の資源や特徴を生かした魅力的な事業が拡大することで就きたい仕事が増加している
- ・移住者への支援が充実し、移住者に選ばれるまちになる

その他ラウンド2のなかで話題になったこと

- ・湯沢市にある山菜などの産物を取り上げて、事業を拡大し、雇用や収入を増やしたい
- ・移住者への支援が足りない
- ・若者がふるさとを誇りに思える状態を作りたい



ラウンド1 2040年に予想される湯沢市の課題（心配なこと）は何ですか？

地域（まちづくり・人間関係など）

- ・治安が悪化する
- ・優秀な若者が県外へ流出する
- ・出生率が減少することで、学校数も減少し、地域も衰退する
- ・地域の人々との繋がりが薄くなり、孤立する高齢者が増加する
- ・人々との繋がりが少なくなることで、幸福度が低下し、自殺者が増加する
- ・人口の半分以上が高齢者になり、高齢者を支える人口が少なくなる

自然環境（災害・景観・自然の恵みなど）

- ・単身世帯が増え、空き家が増加し、景観が悪化する
- ・まちが活性化していないため、観光客が減少する
- ・猛暑や雪の影響による野菜等の作物への被害

経済（産業・雇用・所得など）

- ・労働力不足により、まちが衰退し、企業の倒産や企業の撤退が起こる
- ・少子高齢化が続くと、高齢者を支える若者1人あたりの負担が増える
→社会保障など
- ・職業選択の幅が狭くなる
- ・後継者不足により、農業や産業、伝統文化の衰退、企業の吸収、合併が増加

生活環境（居住・買い物・交通など）

- ・シャッター街が増え、娯楽の場所もなくなり、まちに活気がなくなる
- ・生活インフラが悪化
- ・交通機関の規模が縮小され、買い物弱者が増加

過疎化や少子高齢化により人口の

- ・半分が65歳以上の高齢者となる「限界集落」が増加し、集落として維持することが困難となる
- ・市民サービスが低下する

福祉（医療・介護・子育てなど）

- ・超少子化、超高齢者社会
- ・子どもを産む年齢の女性が少ないため、出生率の低下
- ・高齢化の加速

その他

- ・市の財政が破綻することにより、貧困世帯が増加

【自治体比較】湯沢市優位

- ・なし

【自治体比較】湯沢市劣位

- ・なし

その他ラウンド1のなかで話題になったこと

- ・市内の働いている男性の年収は300万円台が多く、年収が低い
- ・年収が低いいため、結婚したくても難しい場合がある
- ・介護、医療への支援は手厚いが、子育て世帯への支援が弱いと感じる
- ・子育て支援の施策として、3万円のクーポンやおむつの配達、名入り椅子の贈呈などがあるが、本当に子育て世帯が必要としているものとは少しかけ離れているように感じている
- ・子育て世帯の声にもっと耳を傾けてもらい施策へ反映させてほしい

ラウンド2 湯沢市が〇〇な状態であるために、解決したいことは何ですか？

どんな状態？

- ・子どもも高齢者も安心して生活できるような生活環境の充実や生活インフラの向上

解決したいこと（目指す的）

- ・子育て世帯に人気のまちとして注目を集めている流山市の湯沢版を目指す！
- ・市外に行かなくても子どもが安心して遊べる場所や、高校生が放課後に過ごせる場所を提供するなど公共施設の充実。
- ・老若男女問わず安心して通院できる病院（医療体制など）
- ・共働き世帯が安心して働けるよう子どもの保育施設や児童施設の充実（労働時間に合わせた時間帯の延長、休日保育の充実など）
- ・高齢者や子どもが交流できる場所の提供
- ・少子高齢化により、高齢者が労働力不足を補いながら、自分らしく生き生きと活躍できる場の提供

その他ラウンド2のなかで話題になったこと

- ・外部のプロによるマーケティングが必要では・・・
- ・湯沢市の駅前事業の再開発の再検討・・・もっと市民の声を取り入れて
- ・高齢者の力を生かそう・・・じいはあうパー
- ・学童保育は施設によっては人数超過により、利用を制限されてしまう。子供が過ごせる場所として、地区センターを活用したゲーム大会を行うなど・・・



5) 第5回推進協議会（令和5年9月28日）

時 間 18時から20時15分まで 会 場 湯沢市役所本庁舎会議室 21・22

出席者 出席委員14名 事務局5名

テーマ 「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案（アイデアの絞り込み）パート1

内 容 1. 第4回協議会のふりかえり

2. グループワーク

目標（目指すための道標）をたて、どうしたら解決できるか（手段）考える
アイデアソン

コンセプト (Concept & Goal)

市長への事業提案

【目的】

「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案する。

■ タイムスケジュール



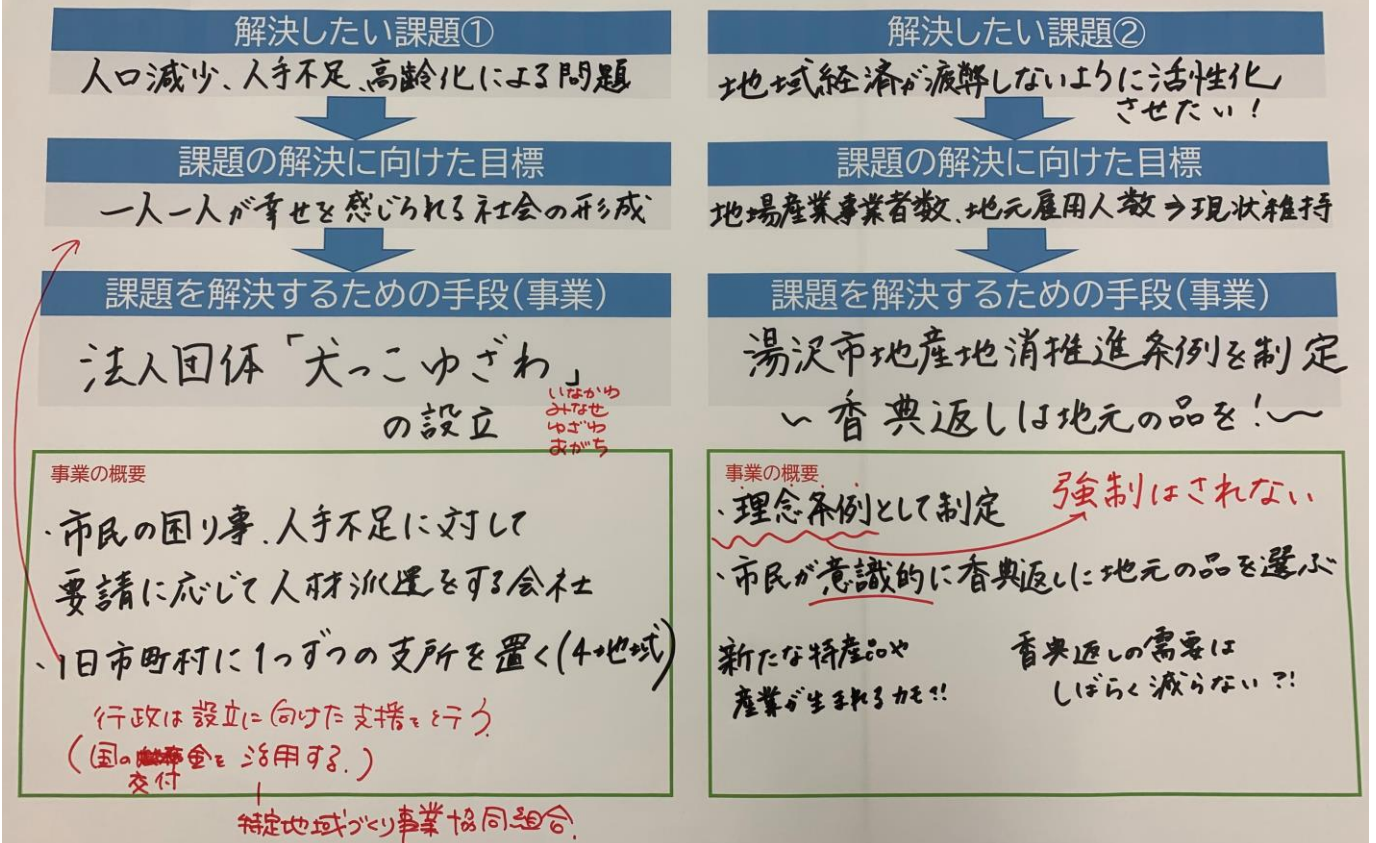
項目	内 容
ワークショップ1 (30分)	◆個人ワーク <ul style="list-style-type: none">・ 解決したい課題を決める。・ 課題の解決に向けた目標を立てる。・ 課題を解決するための手段（事業）を考える。
ワークショップ2 (30分)	◆グループワーク <ul style="list-style-type: none">・ 各グループで個人ワークの内容をプレゼン。・ 提案された事業を各グループ2つに絞る。・ 絞り込んだ事業をブラッシュアップ。
グループ発表 (10分)	◆課題解決策を発表 ※各グループごと <ul style="list-style-type: none">・ 全体共有
クロージング (5分)	◆今後のスケジュール説明

ワークショップ1 市長への事業提案（個人ワーク1班まとめ）

解決したい課題	課題の解決に向けた目標	課題を解決するための手段（事業）	事業の概要
人口減少 人手不足 高齢化による問題	・住んでいる人が快適に、外から来る人が快適に ・8割以上の市民が幸福感和プライドをもって暮らせる	市が出資する第3セクター方式「(株) 犬っこゆざわ」を設立 資本金500万円 →会社を設立することにより、若者のAターンや県外からの人口流入が期待され、かつ、課題解決に向かうのではないかと。	市民の困りごと、人手不足に対して、要請に応じて人材を派遣する会社を設立する。 →社内に以下の部を設ける。 ①農林作業部：さくらんぼ、りんご、田んぼ等農繁期の作業の手伝いや草刈り ②生活・インフラ部：雪下ろし、雪かき、墓そうじ、遺品整理、高齢者の買い物 ③観光・レジャー部：外国人の観光案内、イベントやお祭りの手伝い、ゲストハウスの支援、空き家の活用 ④スポーツ・教育部：課外活動、部活動 ⑤協力隊部：地域活性化のための活動計画、人材育成 ⑥広報部：湯沢の魅力発信
地域経済の衰退	地場産業事業者数→現状維持 地元雇用人数→現状維持	湯沢市地産地消推進条例を制定 →香典返しに地元の品はお茶や海苔など、市外で生産された品がほとんど。お酒や稲庭うどんなど、地元の品が選ばれることにより、地域経済が活性化するのはないか。	しかし…地元の品を選ぶことは強制されない。だから…理念条例として制定。 →市民が（意識的に）香典返しに地元の品を選ぶことにより、地域経済は活性化する。 →香典返しの地産地消に国内で取り組んでいる自治体はない！？ →香典返しの需要はしばらく減らない。 →新たな産業や特産品が生まれるかも！？
地域自治組織が自立しない	旧市町村ごとに4つの組織を設立する。	既存の地域自治組織とは別に、営利を追求して自主運営していく組織をつくる。	初めは旧市町村に1つずつでNPO法人化した地域自治組織をつくり、それぞれの地域の課題を掘り下げて解決していく。 →買い物支援、お祭りの運営、雪下ろし、除雪、病院の送迎、人材派遣、用水路の整備、耕作放棄地の管理
幸福度が低い	各地域におけるコミュニティの再構築	湯沢市民大運動会（綱引き大会など）を開催する。 →世代や地域のくくりを超えたつながりを構築するため、毎年集える催事の確立を目指す。	・各地区対抗の運動会（スポーツ大会）を開催することにより、地域や世代を超えたつながりが生まれる。 →地域自治組織が参加を取りまとめ、定員を設けて必ず出席する。 →外部向けのイベントではなく、市民向けのイベントとして開催する。
伝統芸能・文化の継承、お祭り、行事の継続が難しい	新たな担い手を発掘し、お祭りや行事を担う団体の平均年齢の引き下げ	お祭り男、お祭り女発掘事業	・お祭り好きな「若者」と「お祭り」へのマッチングをし、地域を越えて担い手を発掘する。 ・伝統文化継承のためのアーカイブを作成。装飾品の飾り方や踊りなどを映像や資料で保存する。 ・伝統芸能体験教室を開催し、伝統文化に触れる機会をつくる。 ・地域伝統芸能祭を開催し、伝統芸能文化を広く市民に知ってもらうとともに、保存団体相互の交流を促進する。 ・保存団体の支援（活動助成）や情報発信を行い、継承・発展を図る。
地域幸福度（Well-Being）が低い	一人一人が幸せを感じられる社会の形成	湯沢市が独自に取り組む事業	・ワークライフバランス →有給・育児休暇取得率UP（特に男性）、労働時間の短縮 ・社会保障 →教育費、給食費の無償化 →児童手当、失業手当の拡充 ・教育 →子供の能力や自主性、思考力を伸ばす教育

■ ワークショップ2 ワークシート②

【1班】



ワークショップ1 市長への事業提案（個人ワーク2班まとめ）

解決したい課題	課題の解決に向けた目標	課題を解決するための手段（事業）	事業の概要
一次産業など、地場産業の魅力が伝わっていない（就職者の減少、出戻り不足）	・待遇（給与）面において、現在より〇パーセントアップ ・魅力を伝える工夫をして就職人数を〇人増やす	待遇面を改善するために売り上げUPの必要があるため、秋田の関係人口に対して湯沢のモノを売るプラットフォームの立ち上げ	仕事や家庭の問題で、秋田に戻ってくることはできないけど、何か応援したいという人が県外には多くいるのではないかと。お米や野菜など、どこで買っても同じモノを全て湯沢のモノにできたらいいのにと考えていたがなかなか難しかった。県外の関係人口向けに湯沢のモノを購入できるプラットフォームを用意して売り上げUPに繋げる。1年間のお米や野菜などを購入してくれれば、秋田に帰省する片道分の新幹線代をポイントとして還元するなど、メリットを作ることで拡大を図る。
移住者への支援が少ない	秋田県が発行しているウェルカムパスポートに湯沢市の事業者を掲載する（3事業者以上）	ウェルカムパスポートへの掲載手順を確認し、必要な手続きを行う。	湯沢市に移住した際に秋田県から頂いたウェルカムパスポートに湯沢市の事業者が1カ所も掲載されておらず、利用することができなかった。湯沢市の登録事業者を増やすことで、移住者にも施設を知ってもらい、今後も利用してもらおうきっかけづくりを行う。
湯沢市には自然を生かした遊び方やアクティビティがたくさんあるはずなのに、移住者からすると、どこでどうやったらできるのか情報が分からない。	・簡単にできるキャンプや釣り、自然遊びなどを週に1回以上情報発信する ・情報をまとめたサイトをつくる	移住者向けの支援に特化したプロジェクトを発足	移住者目線に立てあられる課題や施策を話し合い、具体的に変わっていくことができるプロジェクトを立ち上げることで改善につなげる。組織には若者や移住者に入ってもらう。
移住者が少ない	・ワーケーション人数を増やす ・関係人口を増やす	ワーケーション誘致のための施設整備事業	・テレワークが可能な施設を増やす。 ・Wi-Fi環境を整える。 ・人の魅力や住みやすさ、居心地の良さをアピール。
若い世代に興味をもってもらえていない	若者の目に「湯沢市」を入れる	若者がよく活用しているものを湯沢市も活用していく真似っこ事業	・若者が目にしていくTikTokやInstagramを活用する。 ・HPのデザインなどから、湯沢市の魅力が伝わるような工夫（遊び心がある）をする。 ・HPなどに目安箱を設置する。
企業や農家の担い手不足	稼ぐ地域をつくり安心して働けるようにする →新たな働く場所の創出と維持	ちょこっと体験交流事業	ものづくり体験等の交流イベントを企画し、興味を持ってもらえるようにする。
若者の県外への進学・就職による若年層の減	若者のUターン促進	湯沢市就職促進奨学金返還を支援する事業	・専門学校や大学への進学の際の奨学金の返還を支援する。（就職して5年たったら50万円） ・募集要項を決め、高校等へ配布し、HPなどでもアピールする。 ・就職情報サイト等への情報提供（就業支援） ・空き家等を活用して起業に関する相談や資金等支援（起業支援） ・地元の農業等への支援（就農支援） ・HPを活用し、見やすく楽しく湯沢のアピールをしていく。

■ ワークショップ2 ワークシート② 【 2 班】

解決したい課題①
人口減少が加速し、安心して住み続けられない状況。

↓

課題の解決に向けた目標
人口減少にダイレクトに影響する事業を考える。

↓

課題を解決するための手段(事業)
アイデアを出す会議の場を設ける。

事業の概要

- ・移住対策・若者支援・雇用対策
- ・ワーケーションの充実・ウェルカムパスポート湯沢版
- ・奨学金返還助成支援
- ・HPのミリョクUP・SNSでミリョクを発信
- ・湯沢の物産の販売

解決したい課題②
若い世代に興味をもってもらえていない。

↓

課題の解決に向けた目標
若者の目に「湯沢市」を入れる。

↓

課題を解決するための手段(事業)
若者が利用しているものを湯沢市も活用していく。真似っこ事業。

事業の概要

- ・TikTokやInstagram、Twitterの活用
- ・HPのデザインの工夫
- ・HPなどに目安箱の設置

ワークショップ1 市長への事業提案（個人ワーク3班まとめ）

解決したい課題	課題の解決に向けた目標	課題を解決するための手段（事業）	事業の概要
空き家の増加	再利用のための事業を最低一つは起こして空き家を減らす	空き家や廃校舎の利活用推進事業	・空き家を宿泊できるようにして移住者を支援する。 ・廃校を改装して子供たちが遊べる施設をつくる。 ・高校生のニーズに合わせた施設をつくる。
若い世代が少ない	・子育て世代の増加 ・子育て世代の移住、定着	公園に施設をつくり管理する。	遊ぶものを増やす（年齢別の遊具、ストライダー、一輪車など）
娯楽、交流の場が減り、人々の繋がりが無くなっていくこと	幅広い世代の人々が集まれる場所を作ること	幅広い世代の人々が集まるきっかけづくり事業	公民館等に楽器（ピアノやギターなど）を設置。 →音楽のまち”ゆぎわ”と結びつける。
高齢者、子供、若者が集い、交流ができる場所が少ない	老若男女が気軽に集える場所の提供	みんなが集える憩いの場提供事業	学童に行けない子供や高校生が気軽に集える場所を整備する。
・婚姻率、出生率の低下 ・児童館定員オーバー（かぎっ子対策）	全国平均まで婚姻率と出生率を上げる 地区センター（公民館）をいこいの場に	婚活サービス料補助事業 地区センター（公民館）再構築事業	婚活サービスを利用して結婚した人へ補助金を交付（領収証の掲示で）する。 市民が気軽に集える環境を整備（eスポーツ、音楽、ジジババじゅく）
・アーケード街のシャッター街化	・移住者を増やす ・若者と街に元気と活力を	湯沢市商店街活性化事業	空き店舗を市が借り上げて市民に提供する。小さいブースで様々なことにチャレンジ（週末だけでもOK）施設予約アプリを活用する。
公園で安心安全に楽しく遊べない（遊んでる人が少ない）	公園の利用者UP	子供から大人まで居心地のいいHAPPYな公園整備事業	遊具の充実（1歳から小学校低学年が利用できる）、トイレ、東屋の整備 →平日に自宅保育しているママorパパも週末近場で遊ばせたいママorパパも子供もHAPPYに!!公園が賑やかだとジジババもにっこり。

■ ワークショップ2 ワークシート②

【3班】

解決したい課題①

娯楽、交流の場が減り、人々の繋がりが少なくなっている

課題の解決に向けた目標

幅広い年代の人々が集まれる場所を各地区に作る

課題を解決するための手段（事業）

地域活性化（にぎわい倉出しモデル事業）

事業の概要

- ・地区センター等に楽器（ピアノ、ギター）を設置
- ・e-sportsの設置 → 地区対抗戦の開催
材料：囲碁
- ・音楽室の整備
- ・学童に行けない子どもたちの居場所作り（ジジババ塾）
- ・チャレンジショップの受け入れ

解決したい課題②

市民の声が届かない（行政主導）

課題の解決に向けた目標

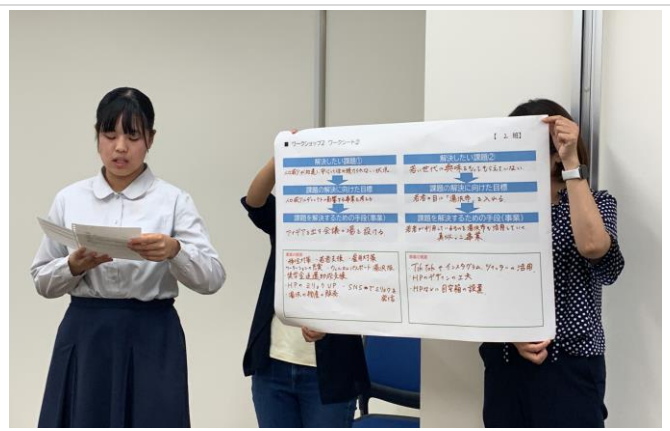
市民の声を取り入れ、市民が参画できる事業展開
市民の幸福度50%

課題を解決するための手段（事業）

市民による市民のための輝くまちづくり事業

事業の概要

- ・公園整備（年齢に合わせた遊具の設置、東屋の設置、健康器具の設置）
- ・糸結婚・子育て支援の見直し
- ・駅前再開発事業の再検討
- ・空き家、廃校の再利用（移住体験宿泊施設等）
- ・市民の声を集める手段の構築（SNSの活用等）



6) 第6回推進協議会（令和5年10月17日）

時 間 18時から20時15分まで 会 場 湯沢市役所本庁舎会議室 21・22

出席者 出席委員13名 事務局5名

テーマ 続「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案（アイデアの絞り込み）

内 容 1. 第5回協議会のふりかえり

2. グループワーク

目標（目指すための道標）をたて、どうしたら解決できるか（手段）考える
アイデアソン パート2

3. 事業内容の発表（全体共有）

4. 今後の取組みについて

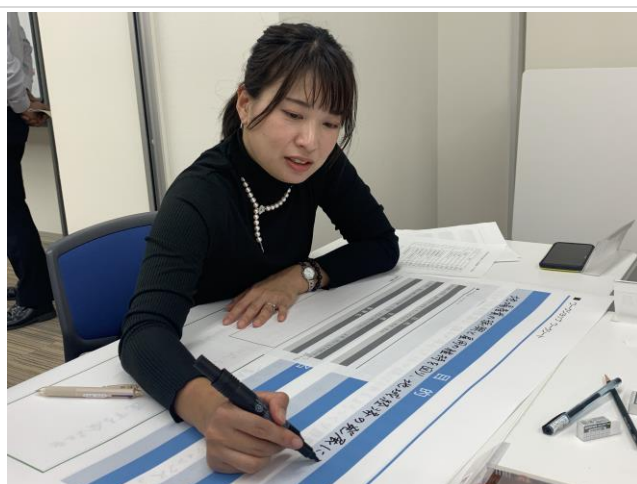
コンセプト (Concept & Goal)

市長への事業提案

【目的】

「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案する。

項目	内容
ワークショップ (90分)	<p>◆<u>グループワーク</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を決める。 ・目標を立てる。 ・事業を考える。 <p>※適宜、休憩を挟んでください。</p>
グループ発表 (10分)	<p>◆<u>事業内容を発表</u> ※各グループごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体共有
クロージング (5分)	<p>◆<u>今後の取組みについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長への事業提案について



3. 事業提案

1) 地域の「つながり」を再構築する地域経営組織育成モデル事業

①目的

人口が減少する中であっても市民がみんな「幸福感」を持って暮らすため、世代や地域のくくりを超えた「つながり」を再構築し、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指す。

②目標

(短期) 地域経営組織モデル地区 2 箇所設定

(中期) 地区組織23団体を組織化

(長期) 全23組織を傘下に置く法人団体「犬っこゆざわホールディングス」設立

③事業の概要

- ・市民の困りごとや人手不足など、多岐にわたる地域課題に対し、市民の要請に応じて人材を派遣する会社（地域経営組織）をモデル地区 2 箇所に設立する。
- ・地域自治組織から地域経営組織への転換によって組織を再構築するとともに、自律的な経営をするための基盤を整える。（特定地域づくり事業協同組合制度の活用による財政支援）
- ・地域経営組織を立ち上げるための人材育成やマネジメントなど、組織体制の強化に向けた支援を行う。

2) 湯沢市地産地消推進条例制定事業

①目的

地場産業の振興と雇用の維持を図るとともに、地域経済の活性化により稼げるまちづくりを目指す。

②目標

(短期) 湯沢市地産地消推進条例を制定

(中期) 冠婚葬祭の返礼品に地元の品を選ぶ割合 50%

(長期) 新たな特産品を取り扱う新会社の設立／新たな産業の創出

③事業の概要

- ・地産地消推進条例を制定して積極的にアピールすることにより、市民が市産品等の歴史、文化、魅力に誇りと愛着を持ってもらい、冠婚葬祭の返礼品として市民が市産品を選ぶように意識付けする。（強制はされないため、理念条例として制定）
- ・冠婚葬祭の返礼品の地産地消に取り組んでいる自治体はないかも。（全国から注目される！？）

3) 未来住宅づくりプロジェクト事業

①目的

若者や子育て世帯、移住者のための魅力的な宅地や住宅（古民家）を作り、定住者を増やす。

②目標

市が管理している魅力的な土地・家を1年間で最低30件登録
（近隣市への転出者20代～30代20世帯+移住者10世帯）

③事業概要

- ・市が選定するエリア（小学校や施設が近いなど）の土地を市が取得し、若者や子育て世帯、移住者を優先的に売却。同エリアに空き家がある場合、解体費用を助成。
- ・空き家や古民家を活用して住宅をリフォームし、低価格での賃貸、お試し滞在住宅として活用。（賃貸開始後の経過年数に応じて借主へ譲渡）

4) 若者がつくる魅力発信コンテスト事業

①目的

若者に効果的な情報発信をすることで若者が市の魅力を再認識し、郷土愛を醸成する。

②目標

年に1回若者による若者視点の魅力発信動画コンテストを実施し、入賞3作品を市のプロモーション動画として追加する。

③事業の概要

- ・若者を対象とした市のPR動画を募集するコンテストを行い、優秀な作品を表彰する。（例：賞金100万円など）
- ・市民も投票できる仕組み（いいね！の数で決めるなど）を作り、湯沢市内部からも外部からも評価できるようにする。
- ・入賞作品は市のプロモーション動画として使用し、市公式ユーチューブなどに投稿する。TikTokやInstagramなど、多くの若者が利用するSNS広告などにも活用する。

5) 地域住民の交流の場づくり事業

①目的

地域住民が気軽に立ち寄れる交流の場や学生等の居場所づくりを行い、地域住民同士のつながりや交流を活性化させ、郷土愛の醸成とにぎわい創出を図る。

②目標

交流の場となるスペースを全ての地区センターに整備する。

③事業の概要

- ・ 学生が市役所以外の公共施設でも勉強できるように、学習スペースを設置する。
- ・ 地域住民が歓談できるスペースを設置する。
- ・ 音楽のまちをアピールするため、誰でも気軽に音楽に触れることができるように楽器（ピアノやギターなど）を設置する。
- ・ 若者男女がゲームを通じて交流を深められるように e スポーツルームを設置する。

6) 婚活サービス料補助事業

①目的

結婚に前向きに取り組む者に対する結婚支援の強化を図ることで婚姻数の増加を図り、少子化の改善を目指す。

②目標

民間の結婚相談所や婚活サイトなどの婚活サービスを利用して婚姻した後、湯沢市に住所を有して居住するカップル 年間5組

③事業の概要

- ・ 婚活サービスを利用して婚姻した後、湯沢市に住所を有して居住しているカップルで、婚姻に至るまでに結婚相談所等への婚活サービスでかかった費用（結婚相談所等への入会金・登録料・年会費・婚活イベント参加料など）の合計額の2分の1を補助（上限20万円）する。
- ・ 申請には婚活サービス等でかかった費用の領収証と婚姻証明書、湯沢市に居住していることを示す書類の提示が必要。

4. おわりに

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会メンバー一同、湯沢市の未来を思い描きながら情熱をもって議論を深め、未来に向けた新たな一步を踏み出すための事業提案に取り組み、協議の成果をまとめた報告書を作成しました。

一層加速する人口減少や少子高齢化を起因とした問題が山積するなか、湯沢市の未来において予想される様々な課題を的確に把握し、真に必要とされる的を絞った施策や事業の展開が求められます。湯沢市におかれましては、本報告書に示された内容についてご検討いただき、事業計画の参考としていただければ幸いです。

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会
会長 小野塚 真美

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会開催報告書

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会

令和5年10月